

国語科授業デザイン

日	時：平成26年10月24日（金）第3校時（10時45分～11時30分）
学	年：小学部3・4年
授業場所	：本校 小学部1組教室

1. 単元名

3年：物語の感想をまとめよう「ちいちゃんのかげおくり」（5/12h）

4年：読んで考えたことを話し合おう「ごんぎつね」（6/14h）

2. 単元（題材）の目標

（3年）・場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像して読むことができるようにする。

・場面をまとめたり、文を引用したりして、感想が文章のどの叙述に基づいているのかを明確にしながら感想文を書くことができるようになる。

（4年）・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述をもとに想像して読み、感想を述べることができるようにする。

・読んで考えたことを基に、互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができるようにする。

・物語から想像したことを書き、書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を伝え合うことができるようにする。

3. 単元（題材）の指導計画

3年（全12時間） 本時5時間目

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	○本を読んで友だちに感想を伝えた経験を思い出し、感想文を書くという学習の見通しをもつ。 「ちいちゃんのかげおくり」を読み、初発の感想を書く。	IWB
第2時	○初発の感想から学習課題を設定して学習計画を立てる。	IWB TPC
第3時	○全文を読み、登場人物やあらすじをまとめる。	IWB TPC
第4時	○「かげおくり」をする二つの場面を比べて読み、自分の感想や考えたことを書く。	IWB TPC
第5・6時 (本時)	○二つのかげおくりの間にあった出来事を読み、自分の感想や考えたことを書く。	IWB TPC
第7時	○第一場面から第四場面と第五場面を比べて読み、自分の考えたことや感想を書く。	IWB TPC
第8時	○感想を伝え合うために、どのような感想文を書けばよいのかを考える。	IWB TPC

第9時	○感想文の構成や書き方を知る。	IWB TPC
第10・11時	○いちばん心を打たれた場面を中心に、心を打たれた理由といっしょに感想文を書く。	IWB TPC
第12時	○分教室の児童と感想文を交流し、学習の振り返りをする。	IWB TPC

4年（全14時間） 本時6時間目

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	○物語を読んだ経験を振り返り、「物語を読み、考えたことを話しあう」という学習課題を設定する。	IWB
第2時	○「ごんぎつね」を読み、人物の行動や気持ちの変化をとらえ話し合うための学習計画を立てる。	IWB TPC
第3時	○「ごんぎつね」を叙述に即して詳しく読み、人物の行動や気持ちの変化をとらえる。	IWB TPC
第4・5・6時 (本時)	○場面ごとに、「ごん」と「兵十」の行動や気持ちを考える。	IWB TPC
第7時	○「ごん」と「兵十」がどんな人物なのかを考えたり、二人の関係がどのように変化したかを考えたりして書きまとめる。	IWB TPC
第8時	○感じたことや考えたことをグループで話し合うために、自分の感想をまとめる。	IWB TPC
第9・10時	○場面ごとに詳しく読んだことを基に、感じたことや考えたことを話し合う。	IWB TPC
第11時	○グループで話し合って深まった自分の考えを書きまとめる。	IWB TPC
第12・13時	○「ごんぎつね」の続き話を想像して書き、分教室の児童と交流し、評価し合う。	IWB TPC
第14時	○きつねが登場する物語を読む。	IWB

4. 本時の目標

(3年) ・二つのかげおくりの間にあった出来事を読み、自分の感想や考えたことを書くことができる。

(4年) ・場面ごとに、「ごん」と「兵十」の行動や気持ちを考えることができる。

5. 本時の情報通信技術 (ICT) 活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・児童 〔・個別学習 ・協働学習〕 ・指導者 〔・コンテンツ提示 ・教材提示〕
活用するコンテンツ	・コラボノート ・デジタル教科書
活用する機器	・IWB ・TPC

6. 本時の展開
(3年)

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p>一斉学習 ○本文の二の場面・三の場面を音読する。 ○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>二つの「かげおくり」の間にあったことを読み，感そうや考えたことを書こう。</p> </div>	IWB (指導者)	【IWBを用いて学習の流れを示す。】
展 開	<p>個別学習 ○二つの「かげおくり」の間の出来事について読み取り，「ちいちゃん」の周りから失われたもの・もち続けたものを考えコラボノートにまとめる。</p> <p>協働学習 ○考えた，「ちいちゃん」の周りから失われたもの・もち続けたものを交流する。</p>	TPC (児童)	<p>【ワークシートとしてコラボノートを準備しておく。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちいちゃん」が失ったものについて順に考えることで，戦争の理不尽さや悲しさに気付くとともに，家族を思い続けた「ちいちゃん」について考えるようにする。
ま と め	<p>個別学習 ○「ちいちゃん」が失ったもの・もち続けたものについて，自分の感想を「感想の言葉」を参考にしながら書く。</p> <p>一斉学習 ○本時の学習について4年生と交流する。</p>	<p>IWB (児童)</p> <p>TPC (児童)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指し棒を用いて自分の作ったコラボノートを示しながら交流させる。 ・「ちいちゃん」の心情を想像し，感想がもてるようにする。 <p>【これまで書き溜めてきた感想のページに書くことができるように支援する。】</p>

(4年)

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	一斉学習 ○本文を音読する。 ○本時のめあてを確認する。	IWB (指導者)	【IWBを用いて学習の流れを示す。】
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">場面ごとに、「ごん」と「兵十」の行動や気持ちを考えよう。</div> 個別学習 ○それぞれの人物の行動をまとめて書き抜き、行動から気持ちを想像して書く。	TPC (児童)	【コラボノートをワークシートのように使うことができるよう準備しておく。】 【児童の書き込んだコラボノートが全体に見えるようにしておく。】 ・会話文だけでなく、地の文にも着目して人物の気持ちの変容を考えられるようにする。
	協働学習 ○まとめたコラボノートを基に物語全体の二人の気持ちの変容を考え話し合う。	IWB (指導者) TPC (児童)	
ま と め	一斉学習 ○本時の学習について3年生と交流する。	TPC (児童)	

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

（3年）・叙述を基に、状況や心情を想像しながら読んでいる。（コラボノート）

（4年）・会話や心情表現・行動から人物の性格や気持ちを読み取っている。（コラボノート）

・言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。（コラボノート）

8. 準備物

IWB, TPC, デジタル資料（コラボノート）